

NEWS LETTER

No. 35
2024.09
AUTUMN

TOPICS
01



山形大学理事・副学長
ダイバーシティ推進室長
伊藤 真知子



室 長 挨拶

日ごろからダイバーシティ推進室にご支援・ご協力をいただきまして、まことにありがとうございます。本年4月に推進室長に就任いたしました。男女共同参画及びダイバーシティは、大学キャンパスの内外において実現すべき重要な価値であり、目標です。国の男女共同参画基本計画は数値目標を掲げており、同様に本学では、「山形大学男女共同参画基本計画（第2次）」を策定し、目標値を掲げて（たとえば女性教員比率）推進に取り組んでいます。

男女共同参画及びダイバーシティとは、性別、年齢、職業、国籍、性的指向・性自認、障がいの有無等にかかわらず、誰もが個人として尊重され、その人らしく十全に人生の可能性をひろげ幸福（well-being）を追求していくことができるよ

う、環境整備していくことを意味します。

ダイバーシティ（多様性）を認め合い、インクルージョン（包摂）を感じられるキャンパスづくりのために、ダイバーシティ推進室では、さまざまな支援制度を設けています。制度を活用していただくとともに、キャンパス内で多様な学生・教職員が対話し、相互理解を深めていくことが必要です。違いを違いとして認め合い、語り合う対話の文化が根づいていくよう願っています。

大学は社会に先んじて新しい価値を体現し、教育・研究・社会共創を通じて、未来の社会を先取りし先導していく使命があります。ダイバーシティに関心を寄せ、本学の先進性を一緒ににつくり広げていきましょう。

TOPICS
02



『山形大学多様な性に関するガイドライン』をのぞき見してみよう！

山形大学では、性的指向・性自認等にかかわらず、すべての教職員が過ごしやすい環境をめざしています。日常会話の中で何気なく使っている「呼称」、本学のガイドラインでは、次のように取り上げています。



II 本学の姿勢と現段階での具体的対応

3. 授業について

性的指向・性自認等にかかわらず、すべての学生が学びやすい授業をめざして、次のような授業づくりに努めます。

授業中の学生に対する呼称等（Ms.、Mr.、くん、さん等）については、性別に関わらず使用できる呼称（例えば、Yamadai-san、山大さん等）の使用を進めます。性別でのグループ分けの必要性について確認します。授業等で使用するワークシートやアンケートに性別欄を設ける際には、配布時にその目的を説明し、性別欄の記入を自由に選択できるようにします。



授業の中だけでなく、また対学生ということに限らず、相手に呼びかける際に使う呼称。当たり前のように選び使っている言葉ひとつでも、相手にとってよりよい環境を作り上げる一因となるなら素敵ですね。

*詳しくは本推進室HPをご覧ください→



「呼称」
今回のテーマは
「呼称」
についてです。



研究者からのメッセージ The Message



Connecting the dotsのすすめ



安東 秀峰 先生

高校時代、暗記が嫌いな僕は物理に関心があり、化学が苦手だった。ある時、ふと書店で手にとった本が、電子の動きから化学も論理的に理解できると教えてくれた。これは面白い。さて大学で物理をやるか、化学をやるか。大学で化学を選んだ僕は結局、化学現象も物理抜きに理解できないと知り、理論物理化学の研究室に籍を置いた。研究は辛くて楽しい。高度な理論に未解決の難題、プログラミングと終わりのない研究相談、その後、深夜二時の先生とのラーメン。家族の心配も余所に博士課程までどうにか修め、カリフォルニア大学アーバイン校で雇って頂いた。膨らんだ登山用ザックを背に二十万円強を持って単身渡米した日のことを覚えている。英語など話せないが研究室に日本人はいない。二年間の滞米中にボスや様々な国籍の同僚はもちろん、バスで仲良くなった友人、大家さんご家族、同居人に助けられながら、何とか一つ大きな仕事が出来た。同じ

大学にいた妻とも出会い、以来、家では英語が公用語である。仕事終わりの夕方、保育所に立ち寄り、トリケラトプス（地面に横たわる化石形態）やアノマロカリスの物真似で忙しい息子を車に押し込み連れ帰る。夕食後、米国ユーチューバーBlippiの恐竜動画を見てワーキヤ騒ぐ息子を尻目に、妻が書いた交通経済学の申請書や論文、Mathematicaプログラムを添削する。就寝前には息子に絵本「Quantum Physics for Babies（赤ちゃんのための量子物理学）」を読み聞かせる。こんな状況は全くの想定外だ。十年後の自分を予想して逆算するように進路を決めることなど出来ない。将来役に立つか分からない何かに今没頭し、挑戦し、遠い将来にそれらがつながって実を結ぶ。スティーブ・ジョブズはこのことをConnecting the dotsと呼んだ。南カリフォルニアで千兆分の一秒の生体現象を追いかけていた僕は知っている。今は今しかない。今を全力で楽しもう。



令和6年度 山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー LGBTQA当事者のつまずきポイント ～山形在住当事者の視点から～

を開催しました！

アーカイブ配信等
詳しくはこちらから



6月25日（火）に「山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー」を開催しました。

約70人が参加した本セミナーでは、架空の人物になぞらえた当事者のライフステージをたどり



ながら、各局面で遭遇するつまずきポイントや救われポイントを紹介し、どうしたらつまずきを防げるか、事例の詳細も交えて紹介されました。

講演後、受講者からのアンケートでは、「避けていたような内容を、ストレートに伺うことが出来た」「職場などで当事者に配慮した個別具体的な対応を検討するのではなく、誰でも働きやすい環境を整えることはその通りと感じたが、見落としやすいポイントだと感じた」などの声が寄せられ、大変有意義な機会となりました。

引き続き、本学では、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進し、本学の学生及び教職員が性別、性的指向・性自認等にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することを目指してまいります。

ダイバーシティ推進室からのお知らせ

『報告』・令和6年6月24日～28日男女共同参画及びダイバーシティフェスタ2024（パネル展示）を開催しました。

『ご案内』・「学長・学部長と女性研究者との懇談会」が開催されます。
 小白川キャンパス：12月4日（水）15時00分～16時00分
 飯田キャンパス：12月25日（水）15時45分～16時45分
 米沢キャンパス：12月3日（火）15時00分～16時00分
 鶴岡キャンパス：12月12日（木）15時00分～16時00分

・来年度の「研究支援員制度」の利用者募集を10月から開始する予定です。
 詳しくはダイバーシティ推進室HPをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

023-628-4939

E-mail yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

URL <https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

